

AXIS M4218-V Dome Camera

深層学習を使用するバリフォーカル8 MPドーム

このコンパクトで目立たないドームは、4K解像度の優れた画質を実現します。さらに、WDRにより、厳しい光量条件に対応できます。深層学習処理ユニット (DLPU) を搭載しているため、エッジでの深層学習に基づくインテリジェントな分析機能を活用できます。このカメラは、どのような環境にも溶け込むように設計されており、塗り直しが可能で、目立たない監視向けにさまざまなアクセサリが用意されています。さらに、HDMIポートを搭載しており、AXIS T61シリーズを使用して音声やI/O接続を柔軟に追加できます。さらに、Axis Edge Vaultは、装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームとなります。

- > 4K解像度の優れた画質
- > リモートズーム/フォーカス機能を備えたバリフォーカルレンズ
- > 厳しい光量条件のためのWDR
- > 深層学習を使用した分析機能
- > パブリックビューイングモニター用のHDMI出力



AXIS M4218-V Dome Camera

カメラ	
イメージセンサー	1/2.8"プログレッシブスキャンRGB CMOS
レンズ	バリアフォーカル、3.5~6.6 mm、F1.7~2.6 水平視野角: 93° -47° 垂直視野角: 50° -26° 最短フォーカス距離: 1.5 m
デイナイト機能	自動IRカットフィルター
最低照度	カラー: 0.24ルクス (50 IRE F1.7) 白黒: 0.04ルクス (50 IRE F1.7)
シャッター速度	1/71500秒~1/5秒
カメラアングル調節	パン±180°、チルト-40° ~+65°、回転±105° 任意の方向へ動かし、壁/天井を見ることが出来ます
システムオンチップ (SoC)	
モデル	CV25
メモリー	RAM 2,048 MB、フラッシュ512 MB
コンピューティング機能	深層学習処理ユニット (DLPU)
ビデオ	
ビデオ圧縮	H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) メインプロファイル、ハイプロファイル H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル Motion JPEG
解像度	3840x2160~320x240
フレームレート	最大12.5/15フレーム/秒 (電源周波数50/60 Hz) H.264およびH.265a
ビデオストリーミング	個別に設定可能な複数のストリームb Axis Zipstreamテクノロジー (H.264、H.265) フレームレートおよび帯域幅の制御 VBR/ABR/MBR H.264/H.265
マルチビューストリーミング	2つのビューエリアを個別に切り取り
HDMI出力	HDMI 1080p (16:9) @25/30 Hzリフレッシュレート HDMI 720p (16:9) @50/60 Hzリフレッシュレート
ノイズリダクション	空間フィルター (2Dノイズリダクション) 時間フィルター (3Dノイズリダクション)
画像設定	圧縮、カラー、輝度、シャープネス、コントラスト、ホワイトバランス、露出コントロール、動き適用露出、WDR: 最大110 dB (撮影シーンによる)、オーバーレイ (テキスト/画像)、画像のミラーリング、プライバシーマスク 回転: 0°、90°、180°、270° (コリドールフォーマットを含む)
パン/チルト/ズーム	デジタルPTZ
音声	
音声入力/出力	ポートキャスト技術による音声機能: 双方向音声接続、音声エンハンサー
ネットワーク	
ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS、TLS、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP*、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCP、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、リンクローカルアドレス (設定不要)
システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX®、AXIS Camera Application Platformなど、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.comを参照) ワンクリッククラウド接続 ONVIF® Profile G、M、S、T。onvif.orgで仕様を入手可能 Session Initiation Protocol (SIP) への対応によるVoice over IP (VoIP) システムとの統合、ピアツーピア、またはSIP/PBXとの統合。

ビデオ管理システム	AXIS Companion、AXIS Camera Station、Axisアプリケーション開発パートナー製のビデオ管理ソフトウェア (axis.com/vmsで入手可能) に対応
画面上コントロール	プライバシーマスク メディアクリップ
イベント条件	アプリケーション 装置ステータス: 動作温度範囲を上回った時、動作温度範囲外、動作温度範囲を下回った時、動作温度範囲内、IPアドレスの削除、新しいIPアドレス、ネットワーク接続断絶、システムの準備完了、ライブストリーム有効 エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知 I/O: 手動トリガー、仮想入力 MQTT: サブスクライブ スケジュール、繰り返し: スケジュール ビデオ: 平均ビットレート低下、デイナイトモード、いたざら
イベントアクション	デイナイトモード MQTT: パブリッシュ 通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール オーバーレイテキスト 録画またはアップロード目的でのプリ/ポストアラームビデオまたは画像のバッファリング 録画: SDカード、ネットワーク共有 SNMPトラップ: 送信、ルールがアクティブな間に送信 画像またはビデオクリップのアップロード: FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール WDRモード
設置支援機能内蔵	ピクセルカウンター、リモートズーム/フォーカス、レベルグリッド
分析機能	
アプリケーション	含まれるもの AXIS Object Analytics、AXIS Video Motion Detection、AXIS Live Privacy Shield 対応 AXIS Camera Application Platformへの対応により、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (axis.com/acapを参照)
AXIS Object Analytics	物体クラス: 人、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク) シナリオ: ライン横断、エリア内の物体、エリア内の占有状態、エリア内の滞在時間 シナリオは最大10個まで その他の機能: 色分けされた境界ボックスで視覚化されたトリガー物体 ポリゴン対象範囲/除外範囲 実行の設定 ONVIF動体アラームイベント
シーンメタデータ	物体クラス: 人、顔、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク)、ナンバープレート 物体の属性: 車両の色、上/下の服の色、信頼度、ポジション
認証規格	
製品のマーキング	CSA、UL/cUL、BIS、UKCA、CE、KC、EAC、VCCI、RCM
EMC	CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2 米国: FCC Part 15 Subpart B Class A カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A) 韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A オーストラリア/ニュージーランド: RCM AS/NZS CISPR 32 Class A 日本: VCCI Class A
安全性	IEC/EN/UL 62368-1、CAN/CSA C22.2 No. 62368-1、IS 13252
環境	IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC/EN 60529 IP42、IEC/EN 62262 IK08
ネットワーク	NIST SP500-267

サイバーセキュリティアクセス ETSI EN 303 645

サイバーセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きファームウェア、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、AES-XTS-Plain64 256bit SDカード暗号化
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、Axis装置ID、セキュアキーストア、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)、IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS、TLS v1.2/v1.3、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

ドキュメント *AXIS OS強化ガイド*
Axis脆弱性管理ポリシー
Axisセキュリティ開発モデル
AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

一般

ケーシング IP42の防水性と防塵性、IK08の耐衝撃性、アルミニウム製ポリカーボネートケーシング (ハードコーティングドーム付き) カプセル化された電子部品
カラー: 白NCS S 1002-B
ケーシングの再塗装の手順と保証内容への影響については、Axis/パートナーにお問い合わせください。

電力 Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at Type 1 Class 2 通常3 W、最大4.8 W

コネクタ RJ45 10BASE-T/100BASE-TX PoE
HDMIタイプD
音声: ポートキャスト技術による音声およびI/O接続

ストレージ microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応
NAS (network-attached storage) への録画
SDカードおよびレコーダーの推奨事項については、axis.comを参照

動作条件 0° C~40° C
湿度:10~85% RH (結露不可)

保管条件 -30° C~65° C
湿度5%~95% RH (結露不可)

寸法 高さ: 71 mm
直径120 mm

重量 356 g

パッケージ内容 カメラ、インストールガイド、所有者認証キー、H.264/H.265用の仮想クライアントライセンス

オプションアクセサリー AXIS T8415 Wireless Installation Tool
AXIS TM4201 Recessed Mount
AXIS TM3207 Recessed Mount
AXIS T94C01L Recessed Mount
AXIS T94C01U Universal Mount
AXIS T94C01M J-Box/Gang Box Plate
AXIS M42 Casing A Black 4P
AXIS M42 Smoked Dome A 4P
AXIS T91A33 Lighting Track Mount
AXIS T91A23 Tile Grid Ceiling Mount
AXIS TM4101 Pendant Kit
AXIS TM3101 Pendant Wall Mount
AXIS Surveillance Card
その他のアクセサリーについては、axis.com/products/axis-m4218-v#accessoriesにアクセスしてください。

システムツール AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリーセレクター、レンズカリキュレーター
*axis.com*で入手可能

言語 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証 5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号 axis.com/products/axis-m4218-v#part-numbersで入手可能

サステナビリティ

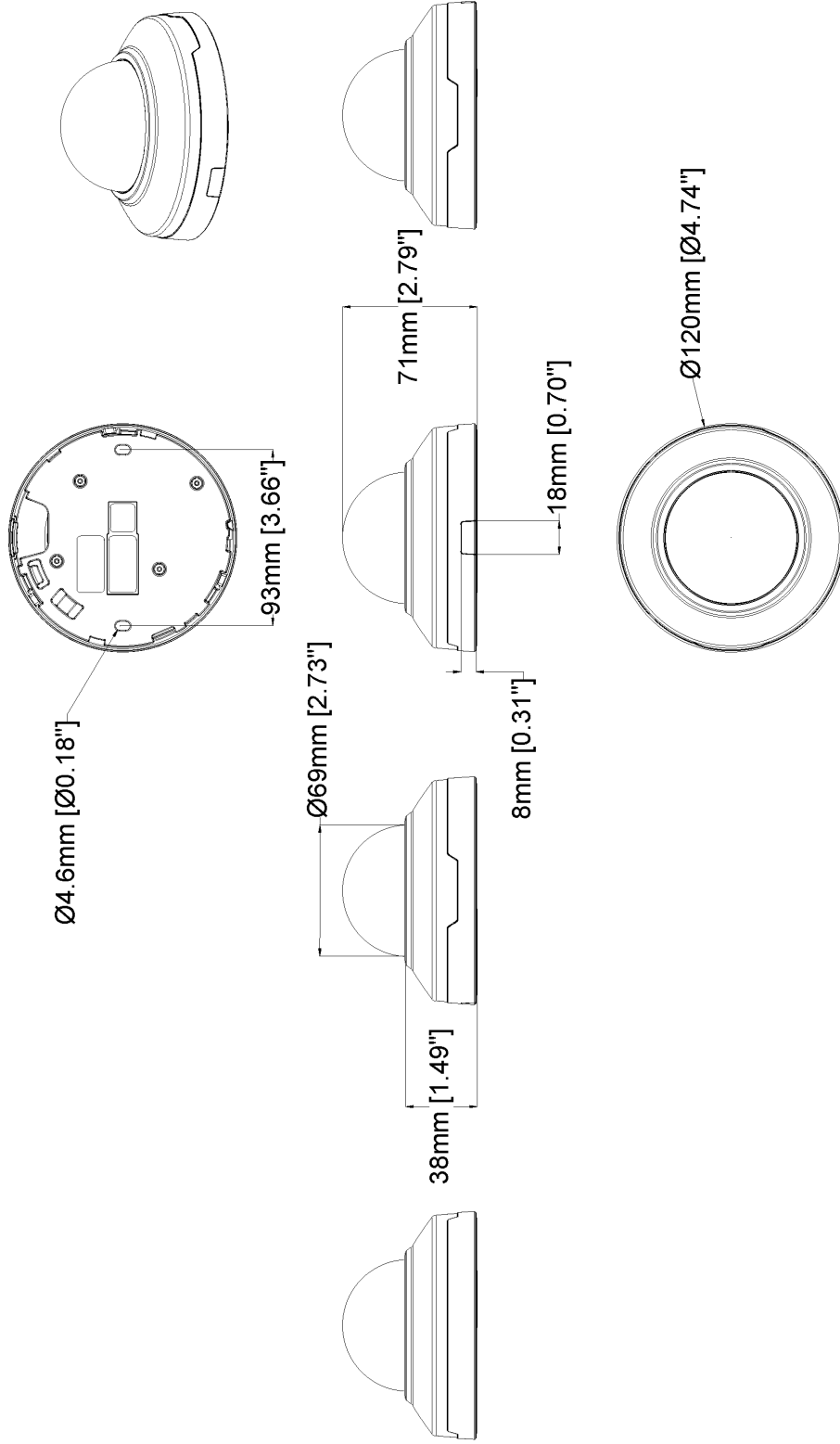
物質管理 PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018) に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UIDについては、echa.europa.euを参照

素材 再生可能な炭素系プラスチックの含有率: 38.9% (再生プラスチック)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任 axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については unglobalcompact.orgを参照)

- Motion JPEG* でフレームレートを低減
- ユーザーエクスペリエンス、ネットワーク帯域幅、ストレージ使用率を最適化するために、カメラまたはチャンネルごとに固有のビデオストリームは最大3つまでをお勧めします。内蔵のストリーム再利用機能により、マルチキャストまたはユニキャスト転送方式を使用して、ネットワーク内の多くのビデオクライアントに固有のビデオストリームを提供できます。

寸法図面



Revision	v.01	Revision date	2023-03-20
Paper size	A4	Release date	2023-03-20
Created by	MS	Scale	1:3

© 2023 Axis Communications

検知、監視、認識、識別 (DORI)

	DORIの定義	距離 (広角)	距離 (望遠)
検知	25ピクセル/m	97.57 m	184.48 m
監視	63ピクセル/m	38.71 m	73.20 m
認識	125ピクセル/m	19.50 m	36.89 m
識別	250ピクセル/m	9.72 m	18.43 m

DORI値は、EN-62676-4規格で推奨されているように、用途別のピクセル密度を使用して計算されます。この計算では、画像の中心を基準点として使用し、レンズの歪みを考慮します。人物や物体を認識または識別できる可能性は、物体の動き、ビデオ圧縮、照明条件、カメラのフォーカスなどの要因によって変わります。計画時にマージンを使用します。ピクセル密度は画像の各部分で変わり、計算値は現実世界の距離とは異なる場合があります。

注目の機能

AXIS Object Analytics

AXIS Object Analyticsはプリインストールされたマルチフィードビデオ分析機能です。人、車両、車両タイプの検知と分類を実行します。AIベースのアルゴリズムと行動条件のおかげで、シーンと其中的空間的な動きを分析できます。お客様固有のニーズに合わせて設定をカスタマイズ可能です。拡張性が高くエッジベースであるため、最小限の設定により、同時に実行されるさまざまなシナリオに対応できます。

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、工場からその完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。

信頼元の確立は、装置の起動プロセスから始まります。Axisの装置では、ハードウェアベースのメカニズムである**セキュアブート**が、装置の起動元のオペレーティングシステム (AXIS OS) を検証します。その結果、AXIS OSはビルドプロセス中に暗号で署名され、**署名付きファームウェア**となります。セキュアブートと署名付きファームウェアの組み合わせにより、装置のライフサイクル中にファームウェアが改ざんされていないこと、装置が承認されたファームウェアからのみ起動することが保証されます。これにより、すべてのセキュアな動作が依存する信頼の連鎖として、暗号技術で検証されたソフトウェアの連鎖が形成されます。

セキュリティの観点から、**セキュアキーストア**は、セキュアな通信で使用される暗号情報 (IEEE

802.1X、HTTPS、AxisデバイスID、アクセスコントロールキーなど)を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアは、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。セキュリティ要件に応じて、Axisの装置は、TPM 2.0 (Trusted Platform Module) やセキュアエレメント、システムオンチップ (SoC) 内蔵のTrusted Execution Environment (TEE) などのモジュールを1つまたは複数搭載できます。

署名付きビデオを使用すると、ビデオファイルの管理過程を検証することなく、ビデオ証拠が改ざんされていないことが確実にになります。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保管されている独自のビデオ署名キーを使用して、ビデオストリームに署名を追加します。これにより、撮影されたビデオがどのAxisのカメラで撮影されたかを追跡できるため、撮影後に映像が改ざんされていないことが保証されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault/](https://www.axis.com/solutions/edge-vault/)にアクセスしてください。

Zipstream

Axis Zipstreamテクノロジーは、帯域幅とストレージの要件を平均50%低減させながら、ビデオストリーム内の重要なフォレンジックをすべて保持します。また、Zipstreamには3つのインテリジェントアルゴリズムが搭載されており、これにより、関連するフォレンジック情報が最大解像度および最大フレームレートで識別、録画、送信されます。

詳細については、[axis.com/glossary/](https://www.axis.com/glossary/)を参照してください。